

# 欧州、反原発10万人デモ

【パリ＝清水俊郎】

旧ソ連(現ウクライナ)のチェルノブイリ原子力発電所事故から二十六日で二十五年となるのを機に、放射性物質が広範囲に拡散した欧州各地では二十五日、反原発のデモや集会が繰り広げられた。ドイツとフランスでは、福島第一原発事故

で反原発の機運が高まって、抗議した。

主権者側によると、十カ所余の集会に計十万人以上が参加。仏東部ストラスブールと独西部ケールの国境を流れるライン川の橋の上では、約七百人が原発事故による死者を模して一斉に横たわり、原発を推進してきた政府に抗議した。原発が存在しないオーストリアでも、約千人が首都ウィーンの広場で集会を開いた。反原発の立場を国際的に打ち出しているファイマン首相も出席し、「チェルノブイリ事故の後も世界で約百六十の原発が新設されている」と非難した。